

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラス曳舟			
○保護者評価実施期間	2025年 7月 1日 ～ 2025年 8月 1日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37	(回答者数)	21
○従業者評価実施期間	2025年 7月 1日 ～ 2025年 7月 1日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 7月 1日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	マンツーマンによる個別療育の提供	専門の指導員が一人ひとりのお子さまと丁寧に向き合い、発達段階や特性に応じた個別支援をマンツーマンで実施しています。安心できる関係性の中で、自己肯定感の育成と発達の促進を図っています。	<ul style="list-style-type: none"> <li>指導員の専門性向上を目的として、定期的な研修や事例検討会を開催し、療育技術や発達理解の深化に努めております。</li> <li>保護者との連携を強化するため、支援内容のフィードバックを丁寧に行い、家庭での関わりにも活かしていただけるよう支援してまいります。</li> </ul>
2	個別支援と小集団支援の柔軟な組み合わせ	個別療育と小集団療育の2つのコースを設けており、お子さまの発達状況やご家族の希望に応じて、支援内容を柔軟に調整しています。個別支援での集中した取り組みと、小集団での社会性の育成をバランスよく組み合わせることで、より効果的な支援を実現しています。	各コースの目的や活動内容を分かりやすくご案内し、保護者の方が安心して選択できるよう情報提供を充実させてまいります。
3	保護者支援の充実と適切な相談対応	保護者の皆さまからの子育てに関する悩みや不安に対して、随時相談を受け付け、面談や必要に応じた助言・支援を行っています。専門的な視点と共感的な姿勢を大切にしながら、家庭との連携を図り、お子さまの成長を多面的に支えています。	療育の進捗やご家庭での様子を共有することで、双方向の支援体制を強化してまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別療育スペースが完全個室ではない	現在、OAパーテーションを使用して個別療育スペースを区切っておりますが、遮音性に限界があり、隣接するスペースの声や音が聞こえてしまう状況です。また、指導員はパーテーションの転倒リスクにも配慮しながら支援を行っております。	<ul style="list-style-type: none"> <li>転倒リスクの少ない安全性の高いパーテーションへの切り替えを検討してまいります。</li> <li>レイアウトの見直しを行い、可能な限り音環境の改善を図ることで、集中しやすい療育環境の整備に努めてまいります。</li> </ul>
2	事業所による送迎サービスの未実施	当事業所では送迎サービスを提供しておらず、保護者の方による送迎が必要となっております。そのため、送迎者の体調不良等により、児童が健康であっても利用できないケースが発生しております。	<ul style="list-style-type: none"> <li>送迎サービスを行っていない点について、事前に丁寧な説明を行い、ご理解いただけるよう努めてまいります。</li> <li>地域の事業所との連携や外部研修の受講を通じて、送迎に関する情報や支援体制の構築に向けた知識を深めてまいります。</li> </ul>
3	サービス提供時間の短さ	1回あたりのサービス提供時間が1時間であるため、保護者へのフィードバックやお子さまの身支度の時間を含めると、実質的な療育時間が45分程度となっております。	<ul style="list-style-type: none"> <li>提供時間の短さについて事前にご説明し、ご理解いただいた上で、限られた時間内でも効果的な支援が行えるようプログラムを工夫を進めてまいります。</li> <li>移動支援事業所と連携することで送迎に関する支援体制を補完し、より利用しやすい環境づくりに努めてまいります。</li> </ul>